

登別市職員自己啓発研修助成要綱

平成元年3月15日

訓令第2号

(趣旨)

第1条 この訓令は、職員の自主的な研修、研究活動等（以下「自己啓発研修」という。）に対する助成について、必要な事項を定めるものとする。

(自己啓発の要件)

第2条 自己啓発の要件は、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 行政についての理解を深め、職員の資質向上が促進されるもの
- (2) 職務遂行能力の向上が図られるもの
- (3) 市政事務の能率改善が図られるもの
- (4) 新たな施策として市政に反映し得るもの
- (5) 市政推進上での貢献を目的とするもの

(助成対象)

第3条 この要綱により助成の対象となるものは、次に掲げるものとする。

- (1) 自己啓発の要件を満たす調査研究を行うため、自主的に結成された職員の研究グループ（以下「研究グループ」という。）
- (2) 次に掲げる通信教育、各種講演会等を受講する職員
 - ア 民間教育機関の実施する通信教育講座
 - イ 他の地方公共団体、学校及びその他市行政に密接な関係のある団体等が実施する講座、セミナー、講演会等
 - ウ 国家資格等の習得のための試験、スクーリング等の受講
 - エ その他市長が指定するもの

(研究グループの活動)

第4条 助成の対象となる研究グループの調査研究活動は、次に定めるものとする。

- (1) 研究グループは、職員5人以上で構成すること。
- (2) 定期的、継続的に活動すること。
- (3) 活動期間は、当該年度内であること。
- (4) 活動時間は、原則として勤務時間外に行うものであること。

(助成内容)

第5条 第3条第1号の研究グループに対する助成は、調査研究活動に要する経費を1グループにつき、3万円を限度とする。

2 第3条第2号アからエまでの通信教育、各種講演会等を所定期間内に修了した受講者に対する助成は、受講に要した経費のうち1万円を限度とした実費とする。なお、受講に要する通信費及び旅費については、受講者の負担とする。

(研究グループの登録及び助成申請)

第6条 研究グループを結成し、第5条第1項の助成を受けようとする研究グループの代表者は、自主研究グループ登録及び活動費助成申請書(別記様式第1号)を市長に提出しなければならない。

(受講申し込み)

第7条 第3条第2号アからエまでの通信教育、各種講演会等を受講しようとする職員は、自己啓発研修受講申込書(別記様式第2号)を、市長に提出しなければならない。

(助成申請)

第8条 第5条第2項の助成を受けようとする職員は、自己啓発研修終了報告及び経費助成申請書(別記様式第3号)を市長に提出しなければならない。

(助成の決定)

第9条 第6条及び第8条の申請があったときは、市長は、研修内容等を審査し、助成の可否を決定し、その結果を申請者に通知するものとする。

(結果報告)

第10条 研究グループの代表者は、当該年度末までに自主研究グループ活動結果報告書(別記様式第4号)を、市長に提出しなければならない。

2 前項の報告書には、調査研究活動に要した経費の収支精算書を添付し、助成金に残額があるときは、これを返還しなければならない。

(助成金の返還)

第11条 市長は、次のいずれかに該当すると認めるときは、すでに交付した助成金の全額又は一部を返還させるものとする。

- (1) 研究グループが調査研究活動を行わなかったとき。
- (2) 第9条第1項に規定する報告書を提出しなかったとき。
- (3) 第2条の自己啓発要件に該当しなかったとき。
- (4) その他市長が助成の必要がないと判断したとき。

(職務上の取扱い)

第12条 自己啓発研修は、勤務時間外に行うことを原則とするが、試験、スクーリング等でこれにより難しいときは、受講者の所属長により1年度当たり3日を限度として職務に専念する義務を免除することができる。

(その他)

第13条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則（平成25年訓令第19号）
この訓令は、平成25年8月23日から施行する。

別記様式第1号（第6条関係）

自主研究グループ登録及び活動費助成申請書

年 月 日

登別市長 様

自主研究グループ名 _____
 (_____ 部 _____ グループ)
 代表者 _____ 印

下記のとおり自主研究グループを結成し、活動したいので経費の助成を申請します。

記

研究テーマ							
研究内容							
活用目標 (意気込み)							
活動計画							
自主研究 グループ名					構成員数	人	
活動予算額	円	(予算内訳)					
助成申請額	円						
※ グループ構成指名一覧を添付してください。 ※ 下欄には記入しないでください。							
決 裁 欄	平成 年 月 日 伺 本件について助成することとしてよろしいか。					決 定	
	部長	次長	総括主幹	主幹	主査	担当員	<input type="checkbox"/> 助成する <input type="checkbox"/> 助成しない <input checked="" type="checkbox"/> 助成額
							円

別記様式第2号（第7条関係）

自己啓発研修受講申込書

年 月 日

登別市長 様

(部 グループ)
氏名 印

_____を受講したいので、
下記のとおり申し込みます。

記

受講コース						
受講期間						
活用目標 (意気込み)						
所要経費	受講料		その他		合計	
	円		円		円	
備考						
※ 下欄には記入しないでください。						
決 裁 欄	平成 年 月 日 伺 本件について、受講を認めることとしてよろしいか。					決 定
	部長	次長	総括主幹	主幹	主査	担当員
	<input type="checkbox"/> 受講を認める <input type="checkbox"/> 受講を認めない (助成費) ◎受講料 円 ◎その他 円 合計 円					

別記様式第3号（第8条関係）

自己啓発研修終了報告及び経費助成申請書

年 月 日

登別市長 様

（ 部 グループ）
氏名 印

_____を終了しましたので、下記のとおり経費の助成を申請します。

記

受講コース						
受講期間						
所要経費	受講料		その他		合計	
	円		円		円	
備考						
<p>※ 添付書類 （1）修了証書等研修の修了を証明するもの。 （2）領収書等所用経費を証明するもの。</p> <p>※ 下欄は記入しないでください。</p>						
決 裁 欄	平成 年 月 日 伺 本件について、助成することとしてよろしいか。					決 定
	部長	次長	総括主幹	主幹	主査	担当員
	<input type="checkbox"/> 助成する <input type="checkbox"/> 助成しない （助成額） ◎受講料 円 ◎その他 円 合計 円					

別記様式第4号（第10条関係）

自主研究グループ活動結果報告書

年 月 日

登別市長 様

自主研究グループ名 _____
(_____ 部 _____ グループ)
代表者名 _____ 印

自主研究活動を終了しましたので、下記のとおり報告します。

記

研究テーマ								
研究結果の概要								
活動期間								
活動費決定額	円		助成費精算額	円				
備考								
※ 研究内容をまとめたレポート及び活動費精算書を添付してください。 ※ 下欄には記入しないでください。								
決 裁 欄	平成 年 月 日 報告					助成額	円	
	部長	次長	総括主幹	主幹	主査	担当員	精算額	円
							返還額	円